

令和5年度
進路通信3年生版
羅針盤第3号



令和5年6月14日(水)
都立上野高校進路指導部
「自主協調・叡智健康」

先輩に聞く、1学期の共通テスト対策

3年のみなさん、大学のキャンパスでは、コロナ前に戻り、皆さんが大学に進学する頃には、充実したキャンパスライフが送れそうです。75期チューターのM. Mさん(千葉大学1年)の言葉です。

「やる前から無理だとあきらめて志望を変えるのはもったいないと思います。やってみなければ分からないことも多いです。大学受験も、大学に行くことも、人生でなかなか無いことだと思うので、行きたい大学を目指してください!」と応援メッセージを書きました。しっかりとペースを作り、計画的に集中できた人が第一志望大学に合格できます。

6月6日(火)のベネッセマーク模試は自己採点や復習はしましたか?7月13日(木)14日(金)にはベネッセ記述模試が行われます(なお2つの模試を受験するとドッキングして総合的に判定がでます)。当面の小目標を7月模試に設定して、期末テストを活用しながら、天王山の夏に向かって行きましょう。受験は始まったばかり。まだまだこれからです。

志望校に見事に合格した先輩から、1学期にやるべき共通テスト対策のアドバイスをいただいたので、是非参考にしてください。キーワードは必ず「**基礎固め**」です。

「共通テストでは、基礎ができてないと点数を落とすので、高1と高2までの内容の復習を忘れずに行いましょう。」

「学校の授業の予習・復習・課題を確実にやり、受験勉強に通用する基本的な土台をつくりましょう。あとは英単語や英熟語、古文単語、漢文の句法などの基本的な暗記は早めに取り組むことが大事です。」

「教科書の基本を押さえて基礎力をつけるべきです。数学なら公式の理解、理科や社会は基礎知識。焦らず着実に基礎力をつけてから問題を解いて応用力をつけるべきです。」

「1学期は模試を解いたり、期末テストがあったりと忙しいのですが、返却されたら、模試やテストで自分が間違えた問題をそのままにせず、早めに直しを行い、同じ間違いを二度としないように意識しましょう。苦手分野を知り対策をすることが大事です。」

「毎日の生活リズムを同じにして、勉強する時間を固定しました。例えば、電車の中ではスマホで英語の長文や英単語を聴く。自習室では問題演習をまずやるなどです。」

「スタディサプリは基礎から応用までたくさんの講座があります。長い休業期間にスタサプを聴講しては復習し、実力を伸ばしました。苦手教科は高1まで戻り、復習しました。」

先輩に聞く共通テスト英数国化日世の効果的学習法

【英語編】

「毎日英語に触れる。1日2題長文問題に取り組み、答え合わせの後は、本文を音読。リスニング対策にスマホに音源を入れて、電車の中で聴いたり、耳を慣らしました。音読、シャドーイングも毎日行いました。」

「英語が苦手な人は、とにかく単語力だと思います。単語がわからないと文章が頭に入ってきません。単語とイディオムを固めましょう。空き時間には単語帳を読むなど、日頃の積み重ねで結果は大きく変わります。」

「試験時間マイナス10分で過去問や予想問題を解くことが効果的でした。共通テストでは、大量の英文を素早く処理することを求められます。数をこなすうちに解くスピードが上がります。」

「多読を重ねて速読力を身につけました。基礎的な単語や文法も問題の中で確認していきます。」

「共通テスト対策の問題集を解き、間違えた問題は二度と間違えないように対策しました。正解した問題も解説を読んで、正しく理解できているか確認しました。」

「文法や単語を早めにやっておくことが大事だと思います。」

【数学編】

「苦手な分野に関しては、教科書レベルの問題集を解いて弱点を補強しました。繰り返し解くことで、処理速度も上がるし、効率が良いです。」

「模試などで間違えた問題をやり直しノートにまとめましょう。ただまとめるだけではなく、なぜ間違えたのか、自分なりの理由も書いて、次に同じような問題を解くときに間違えないようにしました。」

「共通テストの形式にこだわらず、誘導に乗らなくても自力で解けるようになるのが大事。自力で解ける力を養うには、学校指定の問題集で十分なので、たくさん解こう。」

「数学は解答のプロセスの暗記ではなく、なぜその手段を使うのかとかなぜその式の変形を行うのかとかなぜを考えました。苦手分野は一番の伸びしろなので最優先で勉強すべきです。」

「苦手な分野は、本質を理解するように勉強しました。」

「数学は自分の弱点を埋めることが大事です。苦手分野は、基礎問題から直ししました。」

【国語編】

「現代文は参考書などで自分にあった解き方を見つけ、実際の問題で活用する練習をしましょう。オススメは河合出版『入試現代文へのアクセス 基本編/発展編/完成編』です。古文は文法や単語、古典特有の言い回しなどを中心に学習すると、ある程度点数を取れると思います。」

「夏までに基本事項である古文単語や文法、漢文の句型の暗記を完璧にする。」

「問題の答えの根拠と答えでない根拠を徹底的に探し出して、吟味するという学習法。やっていくうちに根拠を探すのに慣れて素早く答えを導くことができるようになります。」

「古文は基本的な古文単語や文法が分かれば、大体の問題は解けます。」

「古文の単語と助動詞を英単語と同じように勉強してください。漢文は得点源になります。『漢文早覚え即答法』などの参考書をやって例文を何度も読んだら勝手に身に付きます。漢文の有無で学部を決めないでください。」

【化学編】

「苦手な化学基礎の基礎固めとして、まずは知識や計算方法等を身につけるため簡単な問題を繰り返し解きました。国立文系で理科基礎にあまり時間がとれないこともあり、授業の復習と土日に30分で問題を解いて間違ったところを復習したり、すき間時間を利用しました。」

「有機化学は、内容が繋がっているの理解して暗記が大事です。高分子などと合わせると量が多いですが、構造から起こりそうな反応をパターンとして覚えると記憶が定着しやすいです。これから学習することになる無機化学はそれぞれの物質の性質や反応式を覚えましょう。ひたすら反復学習が大事です。模試などで共通テスト形式の問題に慣れることも必要です。」

【日本史・世界史・倫政編】

「世界史は楽しいと思うところから全てが始まると思います。タテで流れをつかむだけでなく、ヨコつまりヨーロッパではこんな出来事がおきたけど、中国では○王朝とかつなげていくと幅が広がります。それと場所やおおまかな年号を覚えると得点がアップします。」

「日本史は、時代ごとの特徴をつかみ、過去の出来事の経緯を理解することが大事です。歴史の流れを理解したあとに人物や制度の名前を覚えるようにしました。社会科全般に言えることですが、多くの事を学ぶので、定期テストなどを活用して着実に知識を身につけるようにしました。」

「1週間単位で、目標を決めて今週はp〇〇からp〇〇まで完璧にする。そして次の週はp〇〇からp〇〇まで完璧にする。これを繰り返すと極められます。」



「倫政はもし現社で代用できるなら、現社がおすすめてですが、千葉大などで必要な場合は他の教科とのペース配分に気をつけながら、すき間時間で勉強しましょう。」

今年のオープンキャンパスはリアル(動画もありますが)で!

例年オープンキャンパスは、気になる大学のことがわかる絶好の機会です。6月から夏休みにかけて、各大学では、オープンキャンパスが必ず開催されますが、是非参加しましょう。各大学のHPには動画もアップされていますが、できれば実際に大学に足を運んでほしいので、日程をチェックして参加してみましょう。オープンキャンパスには参加できない場合は、実際に大学を訪問して見学することもおすすめです。予約は必要ないので、学生の雰囲気やキャンパスの様子を肌で感じてみましょう。たくさんある大学の中から、4年間通い、母校になる大学を探すためにも、納得の行く学校選びをする必要があります。

以下にオープンキャンパスではどんなことが紹介されるのかをまとめてみました。

①学校の説明

授業・カリキュラムの内容や学部・学科の説明、卒業後の進路、学費、奨学金など、詳しく教えてもらえます。

②キャンパス内見学

キャンパスや普段・学生たちが授業を受けている教室の雰囲気、自慢の設備などをキャンパスツアーのような感じで見るができます。学生食堂・カフェテリアや実習室、図書館など、学生生活に欠かせない施設を見てみましょう。

③学食体験

これは動画では体験できないので、実際に足を運んだ時に体験しましょう。大学生になると学食で食事するケースが多いので、学生気分も味わうことができます。

④体験授業&実習

模擬授業もオープンキャンパスではあります。授業の分野や内容が自分に合っているかなど、自分が実際にそこで学ぶことをイメージしながら見極めましょう。

ゼミや研究室など、同じ学部学科でも同じような興味・関心を持つ学生が教授の下に集まり、研究していくのも大学の面白いところです。そのあたりも確認してください。

⑤学園祭

学校の一大イベントである学園祭は学生の活動を間近で見ることができるチャンスです。高校生でも見学できますし、大学生活の雰囲気を体験することができます。

●学校見学のここをチェックしましょう

チェック内容	評価				
キャンパスや学生の雰囲気は自分に合っているか	1	2	3	4	5
学校周辺の雰囲気はどうか	1	2	3	4	5
学びたい学部・学科があるか	1	2	3	4	5
模擬授業・体験授業は興味ある内容だったか	1	2	3	4	5
図書館などの施設設備は充実しているか	1	2	3	4	5
資格取得のサポート体制はどうか	1	2	3	4	5
就職状況・就職サポート体制はどうか	1	2	3	4	5
留学制度や海外研修はあるか	1	2	3	4	5
奨学金・特待生制度はあるか	1	2	3	4	5
学食は充実しているか	1	2	3	4	5

先輩からのアドバイス～天王山の夏を迎える前に～ 千葉大学工学部 (75期生 K・Mさん)

Q 6月から7月の過ごし方や心構えを教えてください。

A 夏休み後半あたりから演習に入れると差が付くと思います。6～7月までは自分は、とにかく予習より復習を大切にしていました。勉強時間にこだわらず、自分にあったペースを見つけられるのも今のうちが良いと思います。

Q 共通テスト対策で今の時期にやっておけば良かったことは何でしょうか？

A 共通テストは特殊な出題形式の教科が多く、本来なら解ける問題を落とすことも多かったのですが、本当に解き直して克服すべき単元を見極めるのに時間がかかりました。模試などで早い内から共通テスト形式に慣れるのが一番です。初めは点数にこだわらず、自分の伸びしろを知るチャンスと思って解いてみましょう。

東京工業大学工学院 (75期生 I.T君)

Q 6月から7月の過ごし方や心構えを教えてください。

A 理系はここで基礎が固まるかが勝負。特に数学と英語。青チャートやフォーカスゴールドを回して、英単語もしっかり頑張りましょう。

Q 共通テスト対策で今の時期にやっておけば良かったことは何でしょうか？

A 自分の苦手分野を模試を活用して教科毎に分析し、基礎を積み重ねることです。この時に自分の学力の立ち位置を把握しましょう。そして問題を「解けなければならない基礎問題」「解けた方がよい発展問題」「解けなくても良い問題」に分類し、基礎問題が解けなかったら慌てて演習。発展問題は類題をこなす。解けなくても良い問題も軽く解説を読んでも良いと思います。



法政大学文学部 (75期生 F.Y君)

Q 6月から7月の過ごし方や心構えを教えてください。

A 英語も国語も日本史もとにかく基礎固めです。秋以降は問題演習が中心になると思うので、英単語とか古典文法とか山川の教科書で歴史の流れをつかむとか自分の苦手分野の克服にあてて、基礎を嫌というほど固めましょう。この時期にどれだけ基礎力を固められるかが勝負です。



中央大学理工学部 (74期生 H.H君)

Q 6月から7月の過ごし方や心構えを教えてください。

A この時期は基礎固めが大事で苦手科目の克服をしると思いますが、その通りです。自分の場合は、英語と物理でした。この時期に基礎を固めないと後々過去問を解く時間がなくなるからです。夏以降過去問などの問題演習に入るためにも、夏前の基礎固めはとても大事です。これは理系向けのアドバイスですが、夏休み前に「芝浦工業大学」の過去問を解いて絶望を味わう(笑)と良いでしょう。

Q 共通テスト対策で今の時期にやっておけば良かったことは何でしょうか？

やってよかったのは、英語です。英語は中一のころから苦手で、GTECでビリから4番目をとったこともあります。とにかくリスニングや長文に慣れるつもりで毎日勉強しました。Youtubeで英語を聴いたり、学校の英語の授業も真面目に取り組みました。その結果共通テストで苦手の英語が80点を超え、「英語は慣れが大切」です。